

4年

国語

つながりに気をつけよう

4年 組

名前

①②の( )に当てはまる言葉を□から選んで書きましよう。同じ言葉は一回しか使えません。

①言葉と言葉のつながりをはっきりさせるとき

主語と( 述語 )をたいおうさせる。

( 修飾語 )がどの言葉に係るか  
はつきりわかるようにする。

読点(、)を打ったり、( 順じよ )を  
かえたりして、わかりやすくする。

②文と文のつながりをはっきりさせるとき

長い文は内容の( 切れ目 )で分ける。

必要なときは( 文と文 )の間に  
( つなぎ )言葉を入れる。

にている言葉を( くり返して )いる  
ところは省いたり、( こそあど言葉 )  
を置いたりする。

文と文・修飾語・くり返して・つなぎ  
述語・こそあど言葉・順じよ・切れ目

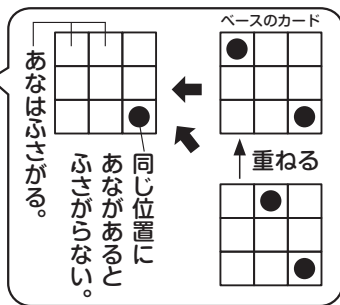
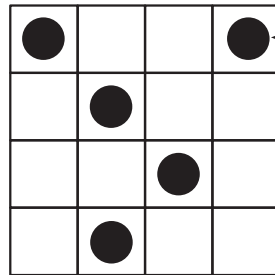


②あなのあいたベースのカードがあります。

アイウのどのカードを重ねると、

あなはすべてふさがりますか。また、答えの  
カードの漢字を①〜⑥の当てはまる□に書き、  
( )にその読みがなを書きましよう。

あな(ベースのカード)



	努	●	
希		残	●
●	別		●
験		●	完

	仲	要	
	●	好	●
最		●	児
●		浴	●

●	●	積	
松		●	念
	差		●
札	●		博

- ⑥ 残(ざん) 念(ねん)
- ⑤ 完(かん) 成(せい)
- ④ 実(じつ) 験(けん)
- ③ 希(き) 望(ぼう)
- ② 努(どりょく) 力(りき)
- ① 区(く) 別(べつ)
- 答え (ウ)